

高梁川流域連携中枢都市圏事業

「絵は奏で、物語る—はるかなる時空の旅人たち—」展の開催について

美術への関心や知識を高める機会を提供するため、音楽や物語を感じさせる豊かな世界を展開する岡山ゆかりの画家の作品を紹介する特別展を開催するとともに、作品を活用した流域ミュージアム力活用連携事業を実施します。

1 開催日時

令和5年10月7日(土)～12月17日(日)

休館日：月曜日（ただし10月9日(月・祝)は開館、10月10日(火)は休館)

2 開催場所

倉敷市立美術館 2階 第2・第3展示室、展示コーナー

3 展覧会の内容

有元利夫氏・瓜南直子^{かなん}氏の作品各約30点、斎藤真一氏の作品約60点を展覧。

4 関連イベント

①記念対談 ②コンサート ③対話型鑑賞会 ④学芸員によるギャラリートーク

※プレイベントとして、特別展の魅力伝えるため美術館職員による講演会を南中学校（7月21日）、東中学校（7月24日）で実施

5 流域ミュージアム力活用連携事業（講師：美術館職員）

(1)夏休み子ども教室 体験タイム「好きな絵の物語を考えよう！」

日程：8月18日(金) 場所：早島小学校ランチルーム

(2)はやしま学 まなびの舎 『絵は奏で、物語る』展 レクチャー」

日程：10月27日(金) 場所：早島町ゆるびの舎

(3)浅口市アウトリーチ事業「好きな絵の物語を考えよう！」(仮称)

日程：11月19日(日) 場所：浅口市中央公民館

(4)早島町図書館・開館25周年記念事業「おしゃべり鑑賞会+ (プラス)」

日程：11月23日(木・祝) 場所：早島町ゆるびの舎

講師：みるを楽しむ！アートナビ岡山の皆さん、美術館職員

6 その他

倉敷芸術科学大学学生の協力をいただき、斎藤真一氏の作品の一部をインターネット上で紹介予定



斎藤真一「草間碧女一覽」1970年 倉敷市立美術館蔵



有元利夫「花火のある部屋」1979年 東京オペラシティ・アートギャラリー蔵
©Yoko ARIMOTO 2023

はるかなる時空の旅人たち

物語る

絵は奏で、



瓜南直子「ひのくに」2002年 個人蔵 画像提供: 青幻舎

会期

2023年

10月7日[土]~12月17日[日]

- 〈開館時間〉9時~17時15分(入場は16時45分まで、初日は10時開場)
- 〈休館日〉月曜日(ただし10月9日(月・祝)は開館、10月10日(火)は休館)
- 〈会場〉倉敷市立美術館
- 〈観覧料〉一般:1,000(900)円、65歳以上:800(700)円、
高大生:600(500)円、中学生以下無料

()内は20名以上の団体料金、心身障がい者とその付き添いの方1名は無料

- 〈主催〉倉敷市、倉敷市教育委員会、倉敷市立美術館、山陽新聞社
- 〈後援〉岡山県、岡山県教育委員会、RSK山陽放送、OHK岡山放送、
TSCテレビせとうち、KSB瀬戸内海放送、RNC西日本放送、
倉敷ケーブルテレビ、玉島テレビ放送、oniビジョン、
FMくらしき、FM岡山、レディオモモ
- 〈助成〉芸術文化振興基金

高梁川流域連携中枢都市圏事業



倉敷市立美術館
KCAM Kurashiki City Art Museum

<https://www.city.kurashiki.okayama.jp/kcam/>

〒710-0046 倉敷市中央2-6-1 TEL086-425-6034



4



5



6

絵は奏で、物語る

はるかなる時空の旅人たち



1



3



2

1.有元利夫「重奏」1975年 出羽桜美術館蔵 2.有元利夫「誕生」1977年 株式会社フジ・メディア・ホールディングス蔵
3.瓜南直子「ムーンダンス」2011年 神奈川県立近代美術館蔵 4.瓜南直子「水奏楽」2002年 個人蔵
5.斎藤真一「望郷」1985年 個人蔵 6.斎藤真一「さすらいの楽師」1979年 岡山県立美術館蔵
※瓜南直子作品画像提供:青幻舎 有元利夫作品画像 ©Yoko ARIMOTO 2023

絵画は古来より神話、聖書等の物語や音楽と密接な関わりを持ち、生活の中で人々の心に寄り添ってきました。本展では見る者の想像力に働きかけ、音楽や物語を感じさせる豊かな作品世界を展開する、有元利夫、瓜南直子、斎藤真一たち岡山県ゆかりの作家の作品を紹介します。津山市生まれの有元利夫(1946-1985)は、時を経て風化したような独自の絵風を作りだしました。舞台にも似た場所に現れる人物は、漂う音楽と共にはるか昔に語られた物語を再び語り始めるかのようです。岡山市で小学校から高校までを過ごした瓜南直子(1955-2012)は、古代日本の神話的世界に基いた「鬼神国(としんこく)」を設定し、作品に様々な神仙、霊獣を登場させ、独創的な幻想譚を紡ぎました。倉敷市生まれの斎藤真一(1922-1994)は、盲目の女性旅芸人・瞽女(ごぜ)や明治期吉原の遊女について調査を重ね、作品を通して彼女たちの物語を語るほか、自画像的なさすらいの楽師等を描きました。描かれた者たちは時空を超えて私たちに訪れる旅人であり、彼らを描いた画家もまた、私たちの心に寄り添うはるかなる時空の旅人と言えるでしょう。このたびの展覧会では音楽と物語に導かれ、異なる個性の作家の世界が豊かに響き合うことを願っています。

記念対談

絵から聴こえる音楽・絵が語る物語 - 斎藤真一作品を中心に

・話し手: 斎藤裕重氏(斎藤真一長男) ・聞き手: 当館学芸員
・日時: 10月7日(土) 14:00~15:30(開場13:30) ・会場: 倉敷市立美術館3階講堂 定員 200名(先着順) **無料**

コンサート

会場 倉敷市立美術館3階講堂 入場料 各回1,500円(当日券のみ) 定員 各回200名(先着順)

1. 物語る画家、瓜南直子へのオマージュ ~小林真理(メゾソプラノ)を迎えて

・出演者: 小林真理氏(メゾソプラノ)、藤田ほのか氏(チェロ)、
棚田文紀氏(ピアノ)
・日時: 11月26日(日) 14:00~15:30(開場13:30)

2. 瞽女唄コンサート ~失われし日本の心を唄う

・出演者: 月岡祐紀子氏(瞽女唄・三味線演奏家)
・日時: 12月2日(土) 14:00~15:30(開場13:30)

対話型鑑賞会

・講師: みるを楽しむ!アートナビ岡山の皆さん
・日時: 10月28日(土)、11月25日(土) 14:00~(1時間程度)
・会場: 倉敷市立美術館2階第2・第3展示室
・対象: 子ども~大人、要事前申込
当日の観覧券が必要です。

担当学芸員によるギャラリートーク

・日時: 10月14日(土)、11月11日(土)、12月9日(土)
14:00~(1時間程度)
・会場: 倉敷市立美術館2階第2・第3展示室
当日の観覧券が必要です。



倉敷市立美術館
KCAM Kurashiki City Art Museum

〒710-0046 倉敷市中央2-6-1 TEL086-425-6034
JR倉敷駅下車、中央通りを南へ徒歩10分
路線バス「大原美術館前」下車徒歩1分
<https://www.city.kurashiki.okayama.jp/kcam/>



※関連イベントなど最新情報は当館ホームページをご覧ください。